

国会で質問する日本共産党の  
赤嶺政賢衆院議員



# ストップ秘密保護法案 廃案の一点を 共同に 広げに広げましょう

秘密保護法案は「修正」でなく「廃案」に一。みんなの党や維新の会が「修正」で妥協するなか、日本共産党は廃案にむけて全力をあげています。



1万人が参加した「STOP!『秘密保護法』大集会」(11/21)



秘密保護法に反対する出版人の  
アピールを發表する編集者ら

名古屋でデモ行進する人たち

## 反対の声さらに

『週刊現代』『FRIDAY』『女性セブン』『SAPIO』『創』『金曜日』の編集長ら120人が秘密保護法反対のアピールを發表するなど、様々な団体や個人が秘密保護法案に「反対」の声をあげています。

11月21日の「STOP!『秘密保護法』大集会」には1万人が参加。愛知の集会には1500人が参加しました。

## 「しんぶん赤旗」に登場



「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。(日刊紙3400円/日曜版800円)

申し込み  
TEL052-261-3461  
(日本共産党愛知県委員会)

女優  
**藤原紀香**さん  
「“知る”ことによって、人は想像し、動くことができると思っています」

元自民党幹事長  
**野中広務**さん

「秘密保護法案が…衆院を通過しようとしている。われわれが恐れた、昔の『大政翼賛会』のようです。空恐ろしいことです」

## みんな・維新は「修正」で妥協 法案の根幹に変化なし

「修正」の内容	問題点
秘密指定の事項を示す「別表」から「その他」という表現を3カ所削除	「安全に関する重要な情報」など、無限定性はかわらず
内閣総理大臣が秘密指定の「基準」をつくる	総理大臣は行政の長であり「第三者」でなく、チェック機能なし
秘密指定をチェックする「第三者機関」の設置	将来の検討課題に過ぎず、政府内に設置される可能性も

首相を「第3者」というみんなの「修正」、秘密指定期間を原則30年から60年に延長する維新の「修正」。「秘密保護法案」の中身を変えないどころか、さらに改悪するものです。

裏面へつづく→

# 秘密保護法案が成立したらこんな社会に

## 矛先は、公務員だけではなく、すべての国民に向けられている

おしゃべり弾圧法



情報かくし法



知る権利封殺法



マンガは「平和新聞」11/5付より

## 狙いは海外で戦争する国づくり



「秘密保護法案」の狙いは、アメリカ政府の要求にこたえて日本国民の目・耳・口をふさいで「海外で戦争する国」づくりを進めることにあります。国民に真実を隠し、ウソの情報で欺いた結果が、過去の侵略戦争の誤りにつながりました。この歴史の教訓に学ぶべきです。